

競技注意事項

1. 規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) ダッグアウト、コンコースでの練習は、事故防止のため厳禁とする。
- 3) コンコース、北・南サイドスタンドの芝生部分は待機場所におけるテントの設営を厳禁とする。
- 4) 相模原ギオンフィールドにおける場所の独占、テントやブルーシートの設置は厳禁とする。
- 5) 荷物は各大学が責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 6) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 7) 競技場内の全ての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
- 8) フィールド競技の練習は、競技役員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 9) グラウンド及び練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 10) トレーナー活動は、各大学の選手待機場所にて行うこと。

3. 競技者の招集について

- 1) 招集所は競技場Aゲート（諸室図参照）に設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。
- 4) 招集の際には、アスリートビブス・商標のチェックをする。また、トラック種目出場者は腰ナンバー標識(2枚)を受け取ること。
- 5) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場者届」（招集所または大会インフォメーションに用意）を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに、競技者係（招集所）に提出すること。**
- 6) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 7) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、ラウンド毎に「リレーオーダー用紙」（招集所に用意）を、**当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。**
- 8) 招集完了時刻に遅れたり、「重複出場者届」及び「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに提出されない場合、当該種目を欠場したものとして処理するので注意すること。
- 9) 棒高跳の練習は競技実施場所で、競技開始時刻1時間30分前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。
- 10) 混成種目の招集時刻については「8. 競技について 4) 混成競技について①」を参照すること。

4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸、または背だけでもよい。
- 2) すべてのアスリートビブスは折り曲げたりしてはならない。
- 3) トラック種目出場者は、競技者係（招集所）が配付する写真判定用腰ナンバー標識を右腰の上部、やや後ろにつけること。ただし、100m、200m、3000m、5000m、110mH、100mH、10000mW、4×400mR の第 4 走者については両腰に腰ナンバー標識をつけること。なお、5000m、10000mW においては、周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識を右腰につけること。
- 4) 3000m、5000m、10000mW、4×400mR 出場者には、レース用特別アスリートビブスを配付する。**大学受付にて配布する ID とアスリートビブスに同封するので確認すること。**
- 5) また、その際には確認のため事前に配付したアスリートビブスを必ず持参すること。
- 6) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	配 色
● 男子	黄色地×黒数字
● 女子	ピンク地×黒数字
● 3000m・5000m・4×400mR	白地×黒数字
● 10000mW	白地×黒数字（男子） 白地×赤数字（女子）
● 十種競技・七種競技	白地×黒数字

5. 欠場について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合は、9月9日（木）14時までは、本連盟 HP に掲載をしている欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス (entry@kgrr.org) に送信すること。また、9月9日（木）14時以降に欠場を申し出る場合は、欠場届(アスリートビブス等の事前配付物に 5 枚同封。不足の場合は大会本部指定の用紙を招集所、または大会インフォメーションに取りにくること)に必要事項を記入、押印し競技者係（招集所）に提出すること。

6. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック種目のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 予選以降の組み合わせ、およびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- 3) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。
- 4) リレー種目は、A 決勝進出チーム以外の記録上位 8 チームによる B 決勝を実施する。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（棒高跳用ポール・投てき物を除く）は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 2) 走高跳・棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用し練習すること。
- 3) 投てき物に関して、持ち込みを希望する場合は、当該種目の競技開始時刻 1 時間 30 分前から 1 時間前までに器具庫 A（諸室図参照）にて、公式計測員の検査を受けること。検査に合格した用器具については「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が

責任を負うことはない。なお、競技終了後、「預り証」を確認の上、大会インフォメーションにて返却する。

8. 競技について

1) トラック競技

- ① 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。
- ② 200m までの競技は、気象条件によっては、バックストレートで実施する場合がある。なお、競技開始時刻の 2 時間前を目安に決定する。
- ③ 男女 10000mW において、男子は 58 分 00 秒、女子は 63 分 00 秒で残り 1 周に達していない者は失格とし、競技を中止させる場合がある。
- ④ 5000m 以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水を用意する。
- ⑤ リレー種目で同大学が 2 チームエントリーする際のユニフォームは、誤判定防止の観点からチーム毎に異なる色を着用すること。
- ⑥ リレー種目で同大学から 2 チーム出場する場合、チーム間の選手交代は認めない。

2) 跳躍競技

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	2m14	+3cm
	女子	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	
棒高跳	男子	4m50	4m70	4m90	5m00	5m10	5m15	5m20	+5cm
	女子	2m70	2m90	3m10	3m30	3m40	3m50	3m60	

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

- ② 男子走幅跳、男子三段跳は 2 ピットで行う。なお、トップ 8 確定後の 4 回目以降の試技についても各自のピットで行う。
- ③ 三段跳の踏切板の位置は、砂場に近いほうの端から男子 12m、女子 10m とする。
- ④ 練習跳躍を除き、踏み切り位置を当該競技者に示さないこととする。

3) 投てき競技

- ① やり投は風向きに関わらず B ゾーンで行う。

4) 混成競技について

- ① 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は 60 分前に開始し、50 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 跳躍種目は 1 ピットで行うものと 2 ピットで行うものがある。競技者は、走高跳は 1 日目、棒高跳は 2 日目のそれぞれ最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
十種競技	走高跳	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	+3cm
	棒高跳	2m70	2m90	3m10	3m30	3m50	3m70	3m90	4m00	4m10	+10cm
七種競技	走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	+3cm

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

5) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回種目において、周回遅れか、周回遅れになりそうな選手に競技者がペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③ フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外(スタンド)にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外(スタンド)から見せることに限定され、録画した機材(ビデオ装置・携帯電話等)を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

6) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアをメインスタンド・バックスタンド・サイド芝スタンドに設ける。

9. 表彰について

- 1) 各種目 3 位までに入賞した者 (B 決勝が行われた場合は A 決勝の 3 位まで) は、競技終了後に表彰を行うので、表彰対象者控場所 (諸室図参照) に集合・待機し、式典表彰係の指示に従うこと。
- 2) 表彰を受ける際は、上は各校の公式ユニフォーム、下は公式ジャージを着用すること。また、アスリートビブスも着用すること。
- 3) 代理表彰は一切認めず、不在の場合、空席として表彰を行う。
- 4) すべての競技終了後、本大会最優秀選手を男女各 1 名選出し、表彰する。

10. 結果発表・抗議について

- 1) 競技結果の正式発表は、大型スクリーンにより行う。場内アナウンスでも発表は行うが、抗議については大型スクリーンへの掲示時刻が基準となるので注意すること。
- 2) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内(同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内)に、その後、担当総務員 (大会本部に常駐) を通じて、口頭で審判長になされなければならない。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。

11. 衣類の管理について

- 1)トラック種目出場者の荷物運搬用としてビニール袋を主催者で用意する。氏名、大学名、

ナンバーを事前に記入すること。

- 2) スタート前に脱衣した衣類等の荷物は競技役員が指示した場所に置くこと。これらの荷物は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、各自で受け取り退場すること。

12. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が発生した場合、一刻を争う事態でない限りは大会本部および競技場の許可なく行わないこと。手配は、大会本部より行うので、事態発生の際には速やかに詳細を大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2021 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

13. 応援について

- 1) メインスタンドでの大学を明示するもの（部旗、横断幕、幟等）の使用・掲出は厳禁とする。
- 2) 横断幕は、各校 1 枚に限り掲出を許可する。その際は、必ず紐を使用し、テープ等の使用は禁止する。手持ちの幟等についてもメインスタンド以外では掲出を許可する。
- 3) 集団応援は厳禁とする。また、個人においてもメガホン・鳴り物等による応援並びに声を出しての応援は禁止する。選手への指示はボード等を活用して行うこと。

14. 入場規制について

今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止する。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
スタンド・コーチングエリア 相模原ギオンフィールド	競技役員・選手・チームスタッフ 審判講習生
グラウンド・招集所 ミックゾーン・雨天走路	競技役員・選手・審判講習生
各諸室	競技役員・審判講習生

15. その他

- 1) 競技運営上、多少の競技日程の変更をする場合がある。
- 2) 競技終了後は、どのラウンドに関わらず、必ずミックゾーンを通ること。
- 3) 盗難・紛失について
主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は大会インフォメーションで保管するが、回収当日の全競技終了後 1 時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する)。
- 4) 荷物の搬出入について
各大学車両の競技場構内への進入は禁止する。

5) 開門と閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
1 日目<9 月 10 日 (金) >	7:30	19:30
2 日目<9 月 11 日 (土) >	7:30	19:00
3 日目<9 月 12 日 (日) >	7:30	16:30

※開・閉門時刻は厳守のこと

- 6) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟